

キ ャ ス ビ ー CASBEE® 新潟

～新潟市建築環境総合性能評価制度～

平成22年4月1日からです。



建物の**成績(性能評価)**を市民のみなさんが**知ることが**できます。
新潟市の**ホームページ**で**見ることが**できます。

Q1. 建物の成績はどういうもの？

A1. 建物の成績とは、建物の使いやすさと、建物がまわりに与える影響のそれぞれに点数をつけ、その総合評価(建築環境性能効率=BEE)で、S、A、B+、B-、Cの5つにランクづけするものです。

Q2. 点数はどうやってつけるの？

キヤスビー
A2. CASBEE(建築環境総合性能評価システム)を使って点数をつけます。

CASBEE: Comprehensive Assessment System
of Built Environment Efficiency

建物の性能(建物の使いやすさや環境配慮など)を総合的に評価するツール(道具)です。



CASBEE新潟イメージキャラクター
「キャスリップちゃん」

CASBEE新潟の「キャス」と新潟市の花であるチューリップの「リップ」から名づけました。キャスリップちゃんと一緒によい建物をつくっていきましょう。

◆問合せ先

新潟市建築部 建築行政課 建築審査係
TEL 025-228-1000 (内線32850)
http://www.city.niigata.jp/info/kenchiku/kentiku/sido_index/kentikusido_index.htm

Q3. 建築環境性能効率 = BEEとは？

A3. 環境品質の点数が良くなるほど、環境負荷の点数が小さくなるほど、成績が良くなります。

$$BEE = \frac{\text{環境品質 (快適に安全に住まう)}}{\text{環境負荷 (自然と地球とともに住まう)}}$$

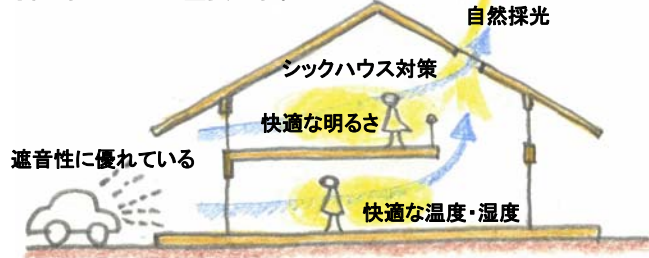
(建築環境性能効率)

環境品質 (Quality)

Q1 室内環境

- 音環境
- 温熱環境
- 光・視環境
- 空気質環境

私たちの住まいは、風雨・寒暑などの自然の変化や、道路騒音・振動などから私たちを守ってくれます。また、快適な室内環境にするには、エアコンなどの設備に頼るだけでなく、自然の光・風・熱を採り入れたり、遮断したりという建物自体で調整する工夫も重要です。



Q2 サービス性能

- 機能性
- 耐用性・信頼性
- 対応性・更新性

建物を長く快適に使用するためには、以下の配慮が必要です。

- ・居心地の良さ
- ・バリアフリー
- ・掃除やメンテナンスのしやすさ
- ・地震などの災害に強い建物の構造、設備
- ・ゆとりある、みんなが使いやすい空間
- ・建物よりも寿命の短い配管などの設備の更新しやすさ
- ・・・など



Q3 室外環境 (敷地内)

- 生物環境の保全と創出
- まちなみ・景観への配慮

- 地域性・アメニティへの配慮

敷地や建物を緑化したり、周辺建物とのバランスに配慮することは、美しいまちなみをつくるために重要です。

また、樹木を植えたり、風の通り抜けに配慮すると、建物もその周りもとても快適な空間になります。

地域の動植物などの環境を守ること、地域の歴史を活かすことも大切です。



環境負荷 (Load)

LR1 エネルギー

- 建物の熱負荷抑制
- 自然エネルギー利用

- 設備システムの高効率化
- 効率的運用

建物での省エネルギーには、高効率な設備の導入、自然エネルギーを利用する工夫と、断熱や日除けなどで調整する工夫が重要です。また、適切に使用するための運用管理も大切です。



LR2 資源・マテリアル

- 水資源保護
- 非再生性資源の使用量削減

- 汚染物質含有材料の使用回避

ゴミだけでなく水や建材に関しても3R (リデュース・リユース・リサイクル) へ配慮することは重要です。

- ・節水
- ・化学物質を含まない建材の使用



LR3 敷地外環境

- 地球温暖化への配慮
- 地域環境への配慮

- 周辺環境への配慮

日本における地球温暖化の主な要因である二酸化炭素の排出量は、約4割が住宅や建物によるものです。

また、より良い都市としていくためには、個々の建物が汚水や雨水の排出量を減らすこと、騒音や悪臭を出さないようにすること、交通渋滞をつくらないようにすることが大切です。

